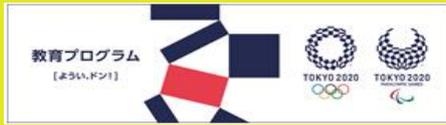


オリパラ便り



平成30年6月14日(月)
第1号

【今年度のオリパラ学習】

運動会へのご参観、ご協力ありがとうございました。生徒の皆さんの一生懸命な姿が感動的でした！

いよいよ2020オリンピック・パラリンピックまで800日を切りました。今年度もオリンピック・パラリンピック学習の報告をかねて、オリパラ便りを発行していきます。本校は今年度もオリパラ教育の取組が優秀であると認められ「平成30年度オリンピック・パラリンピック教育アワード校」に認定されました。今年度も日常生活のあらゆる場面でオリパラ教育を意図的・計画的に進めます。「茶道体験」「和菓子作り」「着付け体験」などを行い、日本人として日本の伝統文化に誇りをもち、日本の良さを発信することができる生徒の育成を目指します。また、パラリンピック種目「ボッチャ」の選手をお招きしての講演・体験会が10月に予定されています。さらに12月には「夢・未来プロジェクト」として、外国人アスリートとの交流とマナー講座講師による外国人に対する挨拶方法等の実習を行う予定です。(28年度は元バレーボールアメリカ代表ヨーコゼッターランド選手にお越しいただきました！) 今月号では本校のオリパラ学習の全体像を紹介します。

<各教科>

- ・オリンピック・パラリンピックの歴史や意義を知る(保健体育、社会)
- ・障がい者について理解する(保健体育)
- ・体力向上に向けた取組を行う(保健体育)
- ・国際社会に対する関心や国際貢献の意欲を高める(英語、社会、理科、数学)
- ・和装・書道・武道などの日本の伝統・文化の良さを学ぶ(技術・家庭科、音楽、国語、美術)

<道徳>

- ・国際的な視野に立ったルールやマナー、規範意識を身に付けさせる
- ・互いの生命や人権を尊重し、相手の身になって考え行動する力、思いやりの心を育てる
- ・豊かな心を育て、ボランティアマインドの心を養う
- ・他国の伝統や文化を尊重できる態度を養う

4つのテーマ



オリンピック・パラリンピック学習

(年間35時間)

- 1 日本及び他国を理解し、他国の人、文化、伝統等を尊重する態度を育成する
- 2 障がい者スポーツを体験し、理解を深める
- 3 体力の向上を図る

4つの目標



<総合的な学習(OT)の時間>

- ・ゲストティーチャーを招いた講演会や体験・交流会を実施する
- ・日本の伝統文化(茶道・和菓子・着付け)の良さを学ぶ
- ・パラリンピック関係者の講話や交流会を通して、障がい者について理解を深める
- ・学校図書館におけるオリパラについての興味・感心を向上させる図書の充実や、関町図書館との連携によって調べ学習の資料の充実を図る

<特別活動等>

- ・校外学習や修学旅行での外国人へのインタビュー活動を通して英語でのコミュニケーション能力の向上を図る
- ・体育的行事を通して、公正・協力・責任を重んじた、オリンピック・パラリンピック精神を培う
- ・小中連携の体力向上部会を中心に、学校行事や部活動を中心とした体力向上を図る
- ・文化的行事を通して、日本の伝統や文化を継承し、発信する